

# ふかまの想い出

第八十四号 二〇一〇年五月一日  
発行元 深町町内会連合会  
連絡所 表六三三三八七

## ふかまの自然への想い (7)

小林龍一郎

「リス」  
一昨年の日記を見ると、リスのことがメモしてあった。そのとき、校舎内の廊下で子どもたちが意味不明の言葉を叫びながら玄関へ向かって走っていた。走らないと決めてある廊下を。子どもたちの興奮で学校内は異様な雰囲気、騒乱状態であった。私は何事かと、子どもが大怪我でもしたのかと、私も子どもとともに走った。「何か、何で騒いでいるんだ？」と、問いかけた子どもたちから応答がない。子どもたちは山に向かっていく。よし、一一九へ電話しなきては、救急車だと考えながら確認に走る。



(りす)

真校舎の階段の所を駆け上がると、五年生が一リスだ、リスがいた」と興奮している。何だリスか、怪我じゃなかったのかと大きなため息を一つ。あーよかったですと引き上げる。

その時、突然「なに！、リスだ」と叫ぶやいなや、椎茸のホダギの積み木の所へ飛び、「どけ、どけ」と群がる子どもたち

## オーストラリア航路の思い出 (4)

秋本 俊之

シドニーには世界一の動植物園があると聞き遊びに出かけた。広いグラウンドがあり、そこでは小学校高学年位の子ども達がサッカーをして遊んで居りません。マナーの良さには驚き、私達の煙草の吸殻を捨てる所がなく、ポケットに入れて持ち帰った事を覚えて居ります。

秦皇島の港は白河の河口に位置し、万里の長城が始まる山海関とは隣の街です。作業が約一週間位かゝるので、万里の長城の見学に出かけました。山海関までは汽車で旅をしなればなりません。日本人が汽車の乗降はフリーパスです。中国人は大きな荷物をか、えて行列を作り乍ら乗車の順番待ちをしている様子でした。山海関では、万里の長城の始まりの城門の前で記念撮影を写真屋さんの奨めで記念撮影をしましたが、その写真機が誠に旧式で面白い。箱形の写真機の前レンズの中のシャッターが無いか、また蓋を閉める様な誠に幼稚な写真機で撮影をしたことでした。

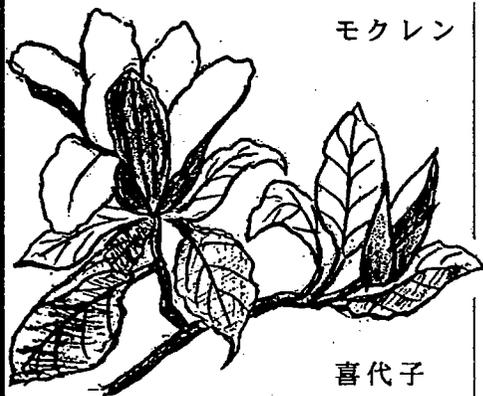
「天下第一関」と大きく書いた城門を昇り、長城の上を歩きましたが、土壁で作られ外敵の襲来を防ぐ城壁はその名の由来をもつ万里の長城は渤海湾に臨む山海関を東の端とし、西の端に当る甘肅省の嘉峪関まで約三〇〇〇kmに亘って連なる世界最大の規模を誇る建造物であり、険しい山脈や大河、峡谷を越えて果しなく続く実に壮大な長城は、異民族の進入を防御するために作られました。秦の始皇帝が全

## 深町の想い出 (3)

中野 吉田 稔

私は隣町中之町に住む深町を故郷とする者です。少年時代、青年時代を当時深田村から、三原市深町へと地名の変わった深町に育ち、懐かしい想い出を作ってくれた郷土と、その地の人々について関心を抱き続けています。

この変化が更に快適で、田園風景や里山の自然と豊かな人情は、これまでと変わらぬおだやかさを残しながら、住民の一人一人が深町に住んでいて、本当に幸せだと思われ様々郷土となることを念じています。



モクレン

喜代子

少年から児童に至るまで「事件」が後を絶たない。それも単純な物盗の領域を越え、傷害から果ては殺人に至るまでエスカレートする。この犯罪現象は子どもを責めて解決するほど単純ではなく、大人社会の写しとみることはできないだろう。最近孤独死の話をよく耳にする。「しばらく戸が開かないので訪ねてみたら亡くなっておられた」。私の関係するグループでも、こんな事例は一年に二つや三つは聞く。近所付き合いが薄れ、互いに困った時に助け合う互助という素晴らしい人の知恵が失われた結果と思う。中之町の高崎さんは「Fだより」二号で、「気軽にあいさつができ、心を許して話し合える関係が是非とも欲しい」と語られた。人は孤独にだけ耐えられるか。お金で買える人間関係は、金の切れ目は縁の切れ目だ、これほどかな対人関係の保てる人は幸せである。如水館高校生から「Fだより」に投稿を頂いた。インタビュー、深町の一人ぐらし老人宅を慰安訪問したことをまとめた連名の文章だが、感動して読ませてもらった。自己中心的な生き方では到底到達できない行動である。事件で新聞を賑わすのも同じ年代の少年。「人づくりに教育」は叫ばれるが、如水館高校のように事実で示すことが「教育の成果」である。拍手

- ★池上早子様 七二歳 男 男三
  - ★坂本アサノ様 八四歳 男 男三
  - ★三坂穂積様 七七歳 男 男三
- 町内各種団体五月行事予定
- 小学校(幼) 一〇日
  - 内科検診(小・幼) 一〇日
  - 参観日(小・幼) 一〇日
  - 修学旅行 一七・一八日
  - ピヨピヨハウス(幼) 一七日
  - 眼科検診 二三日
  - お楽しみ会(幼) 二八日
  - ピヨピヨハウス(幼) 二九日
  - 女性会 一〇日
  - 親睦会 一〇日
  - 町内会連合会 二三日
  - 定期総会 二三日

# 深町歴史散策

(7)



高崎 壽郎

## ・彭祖の滝

二〇〇一・三原カレンダールによると、七・八月に彭祖の滝をあげ「彭祖の滝は、深町の奥深い未だ山紫水明な森林に囲まれたところにある。清澄で濁りこたのない豊富な水が、高さ三〇mの三段滝を落下する様は迫力満点で、「幻の名瀑」と呼ぶにふさわしい」と、緑り濃き滝を紹介している。

この滝は、八幡町本庄と深上組との境にある御調坂(三戸坂)にある。

## 町内団体人事

町内各種団体が決定しましたのでお知らせします。皆様のご協力宜しくお願い致します。

- ▽小学校 校長 瀬畑美代子
- ▽町会連合会 会長 梶谷 和伸
- ▽上組町内会 会長 西本一二三
- ▽中組町内会 会長 広川 弘之
- ▽下組町内会 会長 梶谷 和伸
- ▽消防団 団長 藤 正徳
- ▽PTA 会長 天木 雅之
- ▽尚寿会 会長 村上 徹郎
- ▽女性会 会長 沖西サカエ
- ▽子ども会 会長 小林 正美

## 【小学校・幼稚園人事】

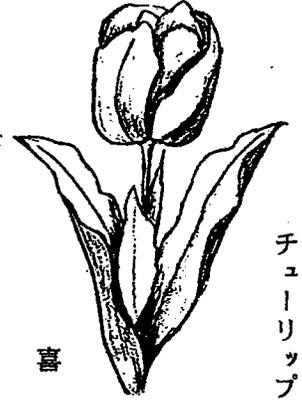
- ・就任・教諭 久保 伸子様 幸崎小
- ・教諭 本平 智子様 八幡小
- ・事務 堤 正臣様 幸崎小
- ・転任・教諭 亀山 弘道様 幸小
- ・教諭 千葉真由美様 原小
- ・事務 福田佳善子様 幸中
- ・幼稚園 新田 敏江様 幸幼

秋は紅葉と四季を通じて楽しめるところで、昔から多くの文人墨客が訪れたといわれる。

奈良時代の神護景雲三年(七六九)宇佐八幡事件に連座した和氣広虫は、御調坂(三戸坂)を越えて、藤原百川の采地八幡荘へ入ったが、その時この滝を訪れ、その絶景にしばし憩いをとったに違いない。

非参議藤原隆明は「彭祖滝避暑」として  
仙人の名をえし滝の冷しさに  
夏なき心千代やへぬらん  
と詠い、芸藩通志の編者で有名な頼杏坪(頼山陽の叔父)もここをおとすれたのか  
紅葉する秋かとたどる  
はうそ滝  
落くる水に夏も忘れて  
の一首を残している。(御調郡誌)

御調郡には、彭祖滝(深)桜滝(深)弥谷滝(現府中市三郎丸町・通称三郎の滝)魚切滝(現御調町野間)の御調四大滝といわれるものがあつた。私達は大自然の恵みを、もっと自慢してもよいと思う。



喜

## 「ボク」の集団疎開の想い出

連載を終えて

元疎開員 西田 勝彦

誰しも、故郷は懐かしく愛するもの様です。私もリタリア後三年、趣味の絵を描く一方、町会の役員にも就き、神社や寺院にも詣る世代となりました。同窓会にも交流のあった大学、高校だけでなく、小学校・中学校にも顔出しするようになりました。

私の最も幼少時の記憶は幼稚園。祖母の死の床や軍属の父を尋ねて朝鮮まで母と母の父に伴われて面会に行つた玄界灘の荒れなど鮮明に記憶しています。しかし、小学校は二、三年までの記憶が、二年生の四、一〇月のわずか半年であつた学童疎開が全てを占めています。その記憶は辛く、今でも切なさがいまもあけてきます。

先日、母校の大阪市立海老江東小学校へ卒業後五〇年ぶりのゲストティーチャーとして、三年生の子たちに、油彩作品「ボク」の学童疎開の思い出(五〇号)

五月、野山の緑が美しく、すべての生き物が息づいてきました。一ヶ月前に入学した一年生も最近は大きな声で「おはようございます。」と元気な挨拶が返ってきます。子どもたちの明るい笑顔と元気な声がスタートできる深小学校です。

さて、来年四月から学校の授業内容が変わる準備として今年度は、「テーマタイム」という時間を土曜日に作りました。この時間については、また、どこかの時間で参観していただいたらと考えております。この「テーマタイム」とは、

## 深小だより

地域においていなくなる方々の力を借りて子どもたちにさまざまなことを体験させる時間を作ろうというものです。授業内容については、今、六つのコースに分けて子どもたちが自由に選択できるようになっています。この時間で子どもたちが学んでいけるものは、地域の方々の支え、学ぶための礼儀、できるという満足感、充実感など多くのものがあります。子どもたちのいきいきとした活動を皆様方に紹介でききることを願っています。

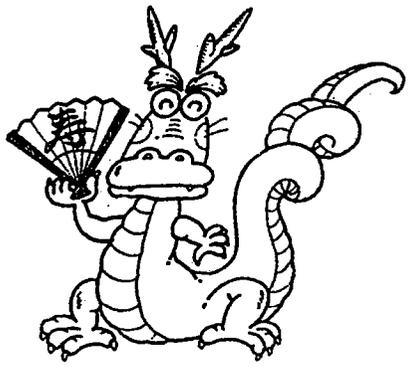


## ふるさと賛歌

石井 良雄

九盆は先祖の墓参り  
お地藏様や 大仙さん  
大鼓踊りを 奉納し  
夜はお寺で 盆踊り  
老若男女 集まりて  
月の光を あそびながら  
踊りあかそう 思いきり

氏神様の祭りの夜  
鳥居くぐれば 夜店あり  
鈴を鳴らして かしわ手を  
何時も静かな境内に  
斉燈代りの 大焚火  
ドンドンヒヤララ 神楽殿  
神と氏子の 睦みあい



## 久保サダノさん 満百歳に

上組、久保サダノさんは、四月二十日で満百歳になられました。お元気で、上寿(百歳の祝い)を向かえられ、誠に御出度うございます。久保さんの長寿の秘訣は

- ・食べ物に好き嫌いをしない
- ・ものごとに、こだわらない
- ・ひきこもらず、できることは自分でする
- ・のようです。

深町で百歳の長寿を完うされた方を他に存知の方は、連合会事務局までお知らせ下さい。

父の手植えし  
今年も咲きぬ八重桜 麦歌